



No.48 2020.4.28

明石市コミュニティ・スクールだより
人をつなぎ 未来をつなぐ 明石のコミュニティ・スクール

コミコミススク

KOMIKOMISUKUSUKU

明石市教育委員会事務局学校教育課

学校運営協議会の役割って？

大久保小学校から4月16日に開催された、今年度1回目の大久保小学校学校運営協議会の報告が届きました。緊急事態宣言を受け、新型コロナウイルス感染症対応に係る臨時休業下での開催ということで、感染防止に最大限の注意を払いながらの開催となったようです。



今回の学校運営協議会のメインの議題は、学校の現況と臨時休業に伴う学校行事の変更であったようです。

こうした状況下で、学校としてはしっかり説明し、混乱をまねかないようにしたいという強い思いがあったのではと思います。

学校長から学校の現況や学校行事等の変更について説明がされた後、次のようなご意見や質問があったそうです。

- ・学校サイドで実施判断できるものがないということ。
- ・学校としては、どうしてもやりたいと要望を出そうとしているものはあるのか。
- ・中、小の子どもがいる。保護者としては、学校から与えられた課題をするしかない。新年度のことはできないので、前年度のことをするしかない。5月7日(木)から再開ならなんとかかなるかもしれない。しかし、休校が延長となるなら、学習内容を習得できるかが心配だ。加えて、高校入試のことも心配である。ウェブの授業は一方通行で子どもに身につかないと考える。それを授業の代わりとするのはやめてほしい。学力保障が心配である。
- ・市は、タブレット一人1台というのは考えられているか。
- ・家庭学習支援システムのホームページは、ネット環境により、開くのに非常に時間がかかる。
- ・印刷ができる家庭とそうでない家庭がある。全ての家庭が整備されていて行われるべきではないか。今後のことも考えてほしい。
- ・こういう事態だからこそ、親子で一緒に料理をする、マスクを作るなど、今しかできないことをするというのを考えてはどうか。または、各家庭では、生きていくうえで、大事なことを教えてはどうか。
- ・子どもの安全についてはどうか。普段よりも自由に過ごす時間がある分、地域で過ごしている子どもが危険なことに巻き込まれないように注意する必要がある。

これらはあくまでも主なものでまだまだ多くのことが出されたと思われます。まさに今、学校が把握すべきニーズ・課題であり、現況ではどの校区でも共通していることだと考えます。そうした意味で現況のニーズ・課題が“みえる化”されたことは大きな意義があると思います。

そこで改めて
コミュニティ・スクールって？
学校運営協議会の役割って？

コミュニティ・スクールづくりもまだまだ始まったばかりです。しかし、前号でもご紹介したように明石ではすでに学校の外の社会ではコミュニティ・スクールづくりがすすめられてきたように思います。

大久保小学校区でも校区の特徴にあわせ、現状を把握し、いろいろな世代から幅広く意見をきき、議論を重ねながら、まちづくり計画書の策定が始まり、地域住民が主体となったまちづくりがすすめられています。まちづくりも学校づくりも目指しているゴールは同じであり、いい学校づくり=いいまちづくりにとって、どれだけ「ワガゴト化(自分事)」できるかがカギになります。だから対話を重ねる熟議が重要になってきます。

学校運営協議会を設置したからコミュニティ・スクールができたわけではありません。学校・保護者・地域の三者で熟議が積み重ねられそれぞれの役割を明確にし同じゴールをめざして協働できてはじめて学校運営協議会が機能し始めたといえるのだと考えています。

では、学校運営協議会の役割を大久保小の事例から考えてみましょう。

学校運営協議会でだされた貴重な意見・考えから考えてみると

学校づくり&まちづくり

熟 議

ワガゴト化(自分事)

アクション

・中・小の子どもがいる。保護者としては、学校から与えられた課題をするしかない。新年度のことはできないので、前年度のことをするしかない。5月7日(木)から再開ならなんとかかもしれない。しかし、休校が延長となるなら、学習内容を習得できるかが心配だ。加えて、高校入試のことも心配である。ウェブの授業は一方通行で子どもに身につかないと考える。それを授業の代わりとするのはやめてほしい。学力保障が心配である。 ⇒切実な保護者の願い&思い

- ・市は、タブレット一人1台というのは考えられているか。
- ・家庭学習支援システムのホームページは、ネット環境により、開くのに非常に時間がかかる。
- ・印刷ができる家庭とそうでない家庭がある。全ての家庭が整備されていて行われるべきではないか。今後のことも考えてほしい。
- ・こういう事態だからこそ、親子で一緒に料理をする、マスクを作るなど、今しかできないことをするというのを考えてはどうか。または、各家庭では、生きていくうえで、大事なことを教えてはどうか。 ⇒学校に投げかけられた意見

これまでの学校評議員会なら
「いただいた貴重なご意見については、今後の教育活動に役立てていきます」
しかし、これからは
学校・家庭・地域の連携・協働を図るためには
ゴールを共有するためには

熟議が必要

- ⇒タブレットが配布されたからって OK なのかな？
 - ⇒今、急に配られても学校の準備は？家庭も準備がいるのでは？
 - ⇒準備が必要だ。我々も準備しておかないと。学校運営協議会もテレビ会議に挑戦してみる？
 - ⇒新学期が始まって課題を出されたけど、先生に〇付けしてほしいな。子どもの励みにもなる。
 - ⇒どうやって回収する？また、パソコン以外に新しい課題を配る方法はないのかな？
 - ⇒先生が一軒一軒まわるのも大変。回収だけなら回収ボックスを校門に置いてみたら？
 - ⇒学校から遠い子は大変だ。スーパーに置いてもらったら買い物のついでにだせるかも？
 - ⇒回収はできるかもしれないけど、配るのは？ポストイン？子どもの下駄箱にいれてもらう？一度持ち帰って何かできることがないか考えてみよう。
- …………… こうした熟議の中から実現可能な案が

熟議の中でだんだんとワガゴト化(自分事に)

アクション(行動化)へ

ワガゴト化からアクションへ

こうした流れを創っていく時期が今なのだと思います。

新型コロナウイルス感染症終息後の社会を考えてみるのも



ツイッターで「Learn by Creation オンライン vol2: コロナ後の社会と教育の可能性 苦野一徳 (教育哲学者)X 尾原 和啓(フューチャリスト)」の案内を見つけました。(ラーン・バイ・クリエイション・オンライン の案内より)

「……………今まで以上に必要となってくるのは、当事者意識を持ち、多面的な視点を得ながらアイデア、作品、ソリューションなどを生み出していく事だと考えています。場所に関わらずに集えるオンラインイベントを通じて、様々な地域の仲間と一緒に、これからの社会や学びについて考えてみませんか？第二回は、これからの学校や教育のあり方を提案される教育哲学者の苦野一徳氏と、テクノロジーの行方に造詣が深いフューチャリストの尾原 和啓氏の対談です。新たな日常の向かう先へ解像度を高めながら、これからの学びについて考える時間となれば幸いです。」

※日時:5月5日(火) 14:00 - 16:00 (YouTube で実況)

この時期にコロナ後の社会を考えてみることも必要かもしれないですね。

※29日(水)13:30 から主催「ZOOM 体験会」が開催されます。

参加を希望される場合は明石コミュニティ創造協会(078-918-5248)まで

(文責:北本)